

《第88回》楠6町内子ども会（18）「第3回 廃品回収」 育成会会長 石川裕美、庄島彩華

令和5年12月10日（日）今年度最後になる3回目の廃品回収を希望ヶ丘中央公園で行いました。子ども達は3回目となると要領も分かっており、開始からスムーズに分別していきました。毎回ながら、下級生のフォローをしたりする姿が見られ、保護者も安心して見守る事が出来ています。

自治会の方々と協力して行う廃品回収。地域との繋がりも出来て素晴らしいです。

回収物を出して下さった地域のみなさんのお陰で、私達がトラックいっぱい回収する事が出来て、嬉しく思います。

終了後のご褒美のお菓子、ジュースを貰った子ども達の顔は達成感でキラキラ輝いていました。

来年度も引き続き、行っていただけたいなあとと思います。



みんな良く協力しました



今回も沢山集まりましたアルミ缶



頑張って集めました段ボール



頑張った褒美の
お菓子・ジュース



皆様 ご協力ありがとうございました。お疲れ様でした。

《事務局から》

事務局長 白石和典

- ① 早速の活動報告ありがとうございました。本年度3回目ともなると、子どもたちも流れが分かっているようで、テキパキと活動したことでしょう。そんな中で、下級生をフォローする姿が今回も見られたようで、異年齢の優しい集団ができていますね。
- ② 先月、令和5年度九州地区子ども会育成研究協議会が熊本市で開催されましたが、その際の部会協議の中で、「地域の人（自治会、老人会など）と一緒に活動する、あるいは地域と関わりのある活動をすることが、子ども会活動で大変重要だ。」という話し合いがなされました。正に楠6町内子ども会が以前から継続して取り組んでいる事です。地域の人と「交流」することで、子どもたちは成長していくと思います。学校教育のように成果は直接は目に見えなくても、子どもの内面的成長に確実に寄与していると思います。
- ③ 「継続は力なり」といいます。「力」この場合の「力」は、楠6町内子ども会にとっては様々な「力」の意味があると思います。
- ④ 今後もこのように地域との交流をすすめ、楠6町内子ども会と地域皆様の益々のご活躍と子どもたちの健やかな成長を祈念いたします。